

八戸赤十字病院地域医療連携課だより

クロス CAFÉ 創刊号



発行日：平成 25 年 4 月吉日

発行者：地域医療連携課

創刊にあたり ごあいさつ ～地域の医療機関の先生方へ～

平素より当院の地域連携業務にご理解とご協力を賜り、誠に有り難うございます。

当院では地域における公的な基幹病院としての機能を果たすため、地域医療連携室を設置し、地域医療機関との連絡調整・情報交換を行い、円滑な紹介患者様の受け入れや逆紹介等、病診連携の充実に努めております。

地域の先生方のご協力の下、紹介率は年々向上しております。今後は当院から

至らぬ点多いとは存じますが、今後も先生方のご助言・ご意見をいただきながら、地域とのかけはしとなるようスタッフ一同努力してまいりますので、引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

八戸赤十字病院 院長 瀬尾 喜久雄



地域医療連携課より



日頃より、当院における地域医療連携課活動にご協力いただきまして心より感謝申し上げます。さて、平成 25 年 4 月八戸赤十字病院の地域医療連携課がリニューアルいたしました。チームメンバーは看護師 2 名、MSW 3 名、主事 2 名の女子 7 名と、男子事務係長 1 名です。入院または通院されている患者様に安心して医療を受けていただけるように、日々努力をしていきたいと思っております。

医療をとりまく様々な不安や、心配に対する問題をとともに考え、解決に向けて相談、支援を行なっていくのが地域医療連携課の重要な役割だと思っております。また開業医様からの、ご紹介患者様の FAX 紹介等に関しましても、御迷惑をおかけしないように心がけておりますので今後ともよろしくお願いいたします。当院から転院する患者様に関しては、看護師 2 名、MSW 1 名が主に退院調整をかけております。病棟師長、スタッフと協力し合いながら、「顔の見える連携」をコンセプトに、患者様やその家族の決断に寄り添い地域で支えていきたいと思っております。

医療社会事業部 地域医療連携課師長 川口 智嘉子



・地域医療連携課のマスコットの「赤ベコ」です。なぜ「赤ベコ」???
その由来は福島県の縁起物の「赤ベコ」が縁の下の力持ちとしてコツコツと仕事を続ける姿が地域医療連携課の方針とリンクしマスコットとなりました。



人間を救うのは、人間だ。Together for humanity

日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

八戸赤十字病院 認定看護師の会主催

第 13 回 オープンセミナー「ナースのためのストーリーケア」

日時：5 月 18 日（土）13 時 30 分～15 時

場所：八戸赤十字病院 3 階 大会議室